



四国地方整備局
平成 30 年 11 月 22 日

「手づくり郷土賞」にJR大歩危駅活性化協議会が選定！！

地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰する「手づくり郷土賞」に今年度は、JR 大歩危駅活性化協議会が選定されました。

<一般部門>

受賞団体：JR 大歩危駅活性化協議会（活動地区：徳島県三好市）

件名：地域の駅から世界の大歩危駅へ

活動：無人化されたJR大歩危駅に賑わいを取り戻すため、自ら駅事務所を休憩所兼観光案内所に改装したほか、年間を通じ地域住民等も参加する周辺の清掃活動や、桜の苗の植樹・桜のライトアップ等の地域づくり活動が地域活性化に貢献。

また、駅利用者は平成 22 年の約 2 万 5 千人から、平成 30 年には約 4 万人に増加する見込みであり、駅の利便性の向上に寄与。

また、選定団体が参加する「手づくり郷土賞受賞記念発表会～グランプリ 2018～」が下記のとおり東京で開催されます。

1. 名称：手づくり郷土賞受賞記念発表会～グランプリ 2018～
2. 日時：平成 30 年 12 月 16 日（日）12 時 30 分～16 時 10 分（予定）
3. 場所：東京国際交流館プラザ平成 3 階 国際交流会議場（東京都江東区青海 2-2-1）
4. 内容：1) 平成 30 年度「手づくり郷土賞」選定団体による活動プレゼンテーション
2) グランプリ（一般部門、大賞部門）の発表、講評

〔 有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会が審査し、一般部門、
大賞部門それぞれのグランプリを決定します。
5. 参加申込（一般参加者、定員 200 名程度・先着順）
 申込み先：<https://www.vmi.co.jp/jpn/consulting/seminar/2018/furusato2018.html>

※認定証の授与式の日程等につきましては、改めてご案内いたします。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 西山 修

○課長補佐 木下 功

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

地域の駅から世界の大歩危駅へ

＜活動主体＞ JR 大歩危駅活性化協議会

＜対象となる社会資本＞ JR 大歩危駅（管理者：四国旅客鉄道株式会社）



＜活動内容＞

平成22年10月に無人化されたJR大歩危駅に賑わいを取り戻そうと、同年11月に協議会を設立。地域の方が意見交換する「キッチン会議」で様々なアイディアを出し合い、駅構内や周辺の清掃活動や桜の苗の植樹、桜のライトアップ等を行っている。また駅事務所を休憩所兼観光案内所の改装したほか、観光情報が入手できるよう、インターネット環境を整備した。駅利用者は、平成22年の約2万5千人から、平成30年には約4万人に増加する見込みであり、活動の結果、駅の利便性の向上や地域の活性化に寄与している。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成30年度で33回目。

【一般部門】

はじめて「手づくり郷土賞」の受賞を目指す団体から表彰

【大賞部門】

過去に「手づくり郷土賞」を受賞し、その後の活動が拡充した団体を表彰

(参考) 平成30年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（平成30年度）

委員長 鈴木 伸治 横浜市立大学国際総合科学部 教授

委員 河野 まゆ子 株式会社JTB総合研究所 主席研究員

委員 関 幸子 株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役

委員 田中 里沙 事業構想大学院大学 学長

委員 平野 龍平 富士急行株式会社 社長室アドバイザー

委員 福井 恒明 法政大学デザイン工学部 教授

(敬称略)

平成30年度 手づくり郷土賞 選定結果

資料 3

<一般部門：20件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	札幌市	新川夢の桜並木事業 ~先人達の夢を実現~	新川さくら並木連合町内会	—
2		北海道	旭川市	地域を育てる緑の道 ~未来を描く物語仕立ての社会資本の活用~	緑道ワークス	旭川市
3		北海道	増毛町	「増毛山道」の復元と保存による地域活性化	特定非営利活動法人 増毛山道の会	—
4	東北	岩手県	一関市	水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ	特定非営利活動法人 北上川サポート協会	—
5		岩手県	陸前高田市	名勝・高田松原の再生をめざして	特定非営利活動法人 高田松原を守る会	岩手県、 陸前高田市
6		山形県	西川町	月山志津温泉雪旅籠の灯り ~雪は宝~	月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会	—
7	関東	千葉県	市原市	養老桜とアートの小径プロジェクト(文化と芸術の里づくり)	まちづくり桜植樹プロジェクト (桜さんさん会)	—
8	北陸	福島県	会津若松市 喜多方市 会津坂下町 湯川村 会津美里町	会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ	阿賀川・川の達人の会	—
9		岐阜県	飛騨市	レールマウンテンバイク 「Gattan Go!!」 ～自転車とレールで風になる～	特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク	—
10	中部	岐阜県	美濃市	美濃和紙あかりアート展	美濃和紙あかりアート展実行委員会	—
11	近畿	京都府	福知山市	「雲原砂防イベント」(よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」)	「雲原砂防イベント」実行委員会	—
12		京都府	長岡京市	京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり	特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク	—
13	中国	島根県	出雲市 雲南市 飯南町	子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり ～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～	特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター	—
14		岡山県	玉野市	宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり ～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～	特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会	—
15	四国	徳島県	三好市	地域の駅から世界の大歩危駅へ	JR大歩危駅活性化協議会	—
16	九州	大分県	日田市	上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動 ～植樹交流で下筌ダム湖のある地域を心の故郷へ～	特定非営利活動法人 下筌ダム湖と森の会	日田市、 福岡市
17		大分県	豊後高田市	花とアートの岬「香々地」 ～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～	特定非営利活動法人 長崎鼻B・Kネット	豊後高田市
18		宮崎県	宮崎市	大塚台団地の里山再生～荒れ果てた都市部の里山再生～	大塚台緑地林里山整備実行委員会	宮崎市
19		宮崎県	延岡市	川坂湿原を生かした地域おこし ～霞堤とともに歩む～	川坂川を守る会	宮崎県
20		宮崎県	串間市	旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり ～レトロ路面電車でまちをつなぐ～	くしままちづくり協議会	串間市

<大賞部門：3件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	※()は一般部門等の受賞年度	応募者	
						地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	小樽市	小樽雪あかりの路 (平成16年度)		小樽雪あかりの路実行委員会	小樽市
2	中部	三重県	伊勢市	伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり ～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～ (平成22年度)		特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆	—
3	中国	山口県	岩国市	蘇った歴史の道 岩国往来 (平成23年度)		岩国往来まちづくり協議会	岩国市



全国の地域づくりに
関心のある方へのメッセージ!

手づくり郷土賞 受賞記念発表会

グランプリ 2018



入場無料

定員 200 名

※参加申し込みは裏面を
ご覧ください。

平成30年12月16日(日) 12:30~16:10

会場

東京国際交流館 プラザ平成 国際交流会議場

東京都江東区青海2-2-1

手づくり郷土賞の受賞者からグランプリを選出

第33回手づくり郷土賞の受賞者からグランプリを選出します。
地域の自然、歴史、文化を生かした、全国の優れた取組状況を知ることで、私たちの「郷土(ふるさと)」のあり方や将来を考えてみませんか。

手づくり郷土賞発表会の特徴

選定団体が一堂に会しプレゼンテーション(発表3分、質疑3分)を行い、その中から、部門別にグランプリを選出します。
また、Facebookでも情報発信します。
<https://www.facebook.com/milt.tedukuri/>



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

全国の地域づくりに
関心のある方へのメッセージ！

ふるさと 手づくり郷土賞 受賞記念発表会

グランプリ 2018

日時 平成30年 12月16日(日) 12:30~16:10

スケジュール

- 開会
- 選定団体によるプレゼンテーション（発表3分 / 質疑3分）
- グランプリの発表
- 閉会

お申込み方法

下記のサイトより参加申し込みをお願いします。こちらの QR コードからもアクセスできます。▶▶▶

<https://www.vmi.co.jp/jpn/consulting/seminar/2018/furusato2018.html>



なお、国土交通省の記者発表資料をご覧になりたい方は右記サイトをご覧ください。https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000204.html

お申込み締切

平成 30 年 12 月 10 日 (月) 17 時

定員 /200 名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

開催会場

東京国際交流館 プラザ平成
3 階 国際交流会議場
所在地 /〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

アクセス / ゆりかもめ「船の科学館」東出口 徒歩約 3 分
りんかい線「東京テレポート」B 出口 徒歩約 15 分

お問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
メール : tedukuri@mlit.go.jp FAX:03-5253-1551

※送信するメールの件名は、
「手づくり郷土賞受賞記念発表会 2018 の問合せ」としてください。



手づくり郷土（ふるさと）賞については、情報発信を行っています。是非ご覧ください。

手づくり郷土賞ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/index.html>

これまでの受賞団体の成果をご覧いただけます。